

神学校献金(神学生奨学金献金) 振替00150-7-669605 日本バプテスト連盟全国壮年会連合事務局

「連盟結成70年、そしてこれからの協力伝道」

日本バプテスト連盟 宣教部長 松藤一作（大宮バプテスト教会）



2017年4月から日本バプテスト連盟宣教部の働きにあたることになりました松藤一作と申します。これまで九州にある教会の牧師として福音宣教に仕えてきました。これからは、全国323の教会・伝道所に仕えさせて頂くことになります。それぞれの教会・伝道所が抱える課題や困難に向き合っていくことに大きな不安と責任を感じていますが、同時に全国にある教会・伝道所の方々と新たな出会いを嬉しく頂きながら、そこにある主の豊かな恵みを見出していきたいと考えております。

宣教部の働きは、協力伝道の推進です。日本バプテスト連盟は今年、結成70年の時を過ごしています。戦後、アメリカ南部バプテスト連盟からの篤い祈りと多大な献金が届けられてきました。それらを用いて全国各地に教会が起こされ、連盟でも様々なプロジェクト・プログラムが起こされていきました。その恵みを受けて、昨今は諸教会・伝道所が献げて下さる協力伝道献金のみによって、協力伝道の業が進められています。

大きな時代の変化の中で、諸教会が抱えている課題や困難は複雑になっています。宣教部の働きも、「伝道推進」から、「教会支援」へと大きく移行しています。こうしたことを悲観的に捉える向きもありますが、私は必ずしもそのようには思いません。高度経済成長と共に“発展”してきた教会が、今こそキリストの教会らしく、《弱さの中に現される主の恵み》を証していくことが出来ると期待しているからです。そのような信仰と姿勢を持った教会を、またその教会が持っている希望を、今という困難な時代を生きる人々は求めているのではないのでしょうか。

現在、宣教部では2018年度に各地で開催されることになっている「協力伝道会議」に向けて準備を進めています。これまで連盟が推進してきた協力伝道の在り方や、教会・伝道・教会形成のイメージを見つめ直し、今求められていることや、この時代に最も相応しい教会の証しの在り方、そしてこれからの協力伝道の形について、この会議で共に考えていきたいと願っています。壮年の方々にも、積極的な参加を期待しています。

《神学生の証》 東京バプテスト神学校 神学専攻科2年 湍谷和美（那覇新都心キリスト教会）



全国壮年会連合の皆さま
いつも神学生へのご支援感謝いたします。東京バプテスト神学校専攻科2年目を迎えました、湍谷和美です。（写真 右）

私は那覇新都心キリスト教会に2009年より8年間教会主事として働かせていただきました。一信徒が主事になったこともあり、ライブ授業のある東京バプテスト神学校に入りました。神学入門の授業で『神学のよろこび』という本が用いられました。それまで神学の勉強など縁がなかった私には、とても新鮮でした。まさしく発見の喜びだったので、それから発見の旅が続きました。授業に出る、授業を後で聞くことで精いっぱい、学期末のレポートが間に合わないことが多かったです。ゆっくりゆっくり5年もかかって本科を卒業しました。しかし確実に神様は私の信仰を整えてくださり、専攻科への道を開

いてくださいました。元々私の家族は全国壮年会連合にはとてもお世話になっております。かつて、夫が献身して西南学院大学の神学部に入りました。壮年連合の奨学金で私たち家族は養われました。心から感謝いたします。けれど、神学校在学中に家庭崩壊、夫と離婚することになりました。卒業後夫は牧師にはなりませんでした。奨学金の返済もできませんでしたので、私たち家族を送り出した教会がその責任を担うことになりそうでしたが、その大きな負担を目の前に見つても信仰を失いつつある夫を教会はサポートし続けてくださいました。このことも本当に感謝でした。そしてやっと、今年、連れ合いは奨学金を返済することができました。私の肩の荷もありました。感謝です。私のことに戻りますが、卒業後は、仕事（小さな働きですが）の関係で沖縄にまだいなければならなくなりましたが、ここで、ご奉仕する道が整えられることを祈っております。ありがとうございました。



昨年10月に神学校献金推進委員として、その働きについて寄稿させて頂きました。今回は、中部地方連合壮年会会長として、「私と壮年会のかかわり」について書かせて頂きます。仕事の関係で海外駐在が長く、そのため教会内での働きは短く、加えて人との交わりが苦手な私は、壮年会など教会外の活動にはあまり興味がなかった。いえ、全くなかった。しかし、ある日全国壮年大会の実行委員の1人にならなければならなくなった。それは、今から約17年前、中部地方連合壮年会が幹事として全国壮年大会を岐阜で開催することになり、中部の各教会から実行委員を出すことになった。その時、教会から背中を押されたのが壮年会の交わりの最初でした。当初は恐る恐るの交わりでしたが、そこにおられた壮年の方々がことのほか熱く、また夢を語っているよ

うに見えた。当時外部活動には控え目な四日市教会にいた私には新鮮に見えた。残念ながら大会後すぐに2度目の海外駐在員になり、8年間の海外生活を終えて帰国、すぐに好印象をもっていた壮年会の窓口になりました。果たして、今の自分がその時の壮年の方々のようなパワーをもって夢を語れるだろうか。今は、もう61歳。「もう61歳と」と言うと、家内に指摘される。「まだ61歳でしょ!」と。「もう」は、どうも「到達点」を意味し、「未だ」は、「これから」を意味する。まだまだ夢を持つべきと。人生の岐路に立ち新たな道を歩む献身者を支援する壮年会の私が夢を持ち語らずして、献身者を支援できるだろうかと思う。壮年の私が夢・希望を語れば、夢をもつ献身者が生まれ、そして育つであろう。大いに夢を語れる壮年になろうと自分に言い聞かせている。

2017年11月現在の神学生奨学金献金・会費実績および対前年度比較

地方連合名	神学生奨学金献金					連合会費				
	2017/11実績		前年同月		対前年額	2017/11実績		前年同月		対前年額
	金額	教会	金額	教会		金額	教会	金額	教会	
北海道	435,440	9	452,528	9	-17,088	33,000	4	46,500	5	-13,500
東北	451,827	10	630,928	11	-179,101	70,500	9	58,500	7	12,000
北関東	1,117,506	11	1,234,706	12	-117,200	129,000	8	118,500	8	10,500
東京	2,517,342	28	2,618,001	26	-100,659	184,500	13	205,500	14	-21,000
神奈川	1,491,605	13	1,233,450	11	258,155	141,000	6	159,000	8	-18,000
西関東	282,400	5	372,900	6	-90,500	42,000	5	31,500	4	10,500
中部	234,165	5	388,377	5	-154,212	0	0	0	0	0
関西	563,338	16	651,271	17	-87,933	48,000	4	48,000	5	0
中四国	1,056,924	14	574,710	12	482,214	117,000	8	57,000	8	60,000
北九州	758,686	16	638,890	14	119,796	64,500	6	60,000	6	4,500
福岡	1,611,361	25	1,514,143	25	97,218	184,500	13	276,000	19	-91,500
西九州	211,000	6	536,200	8	-325,200	16,500	3	69,000	5	-52,500
南九州	338,145	13	386,750	14	-48,605	69,000	6	69,000	7	0
個人団体等	277,419	0	646,035		2,128,158	-				
総計	13,843,932	171	11,878,889	178	1,965,043	1,099,500	85	1,198,500	100	-99,000
対前年比	116.5%	96.1%				91.7%	85.0%			

◎11月末現在、会費が前年同月を下回っています。(対前年度比で献金が116.5%(約+196.5万)、会費が91.7%(約-9.9万)です) ぜひお祈りに加えていただき献金増加と共に、充実した連合活動のために連合会費へのご協力をお願いいたします。

<第2回奨学金委員会報告> 開催:2017年11月18日(土)於:連盟事務所

- 連盟総会報告
- 西南大神学部より文書報告。
- 10月28日に西南学院大学で2018年度転入・編入学生との面談を実施した。
- 2018年度貸与奨学金申請者(新入生・在学生)の審査を実施した。
- 返還免除対象者審査は、対象者から申請がなかった。再度、該当者に確認し申請するように促すことにした。なお、申請がない場合は、返還免除の意思がないものとして取り扱うことも検討した。
- 奨学金の返済状況について確認し、返還が滞っている方については、推薦教会と連絡との連絡を密にして対応を進めることとした。
- 壮年会連合総会での奨学金委員会報告書・計画書の書式見直しについて協議した。
- 壮年会連合総会分団D「奨学金制度の充実」について確認し、実現に向けて協議を開始した。

日本バプテスト連盟全国壮年会連合
〒336-0017 さいたま市南区南浦和1-2-4

事務局執務:月、水、金 10:00~16:00 ☎・fax:048-886-7533 <http://www.sonen.net> sonen@bapren.jp